

すみよし  
国道10号 住吉道路

第2回 説明資料

平成31年2月8日

国土交通省 九州地方整備局

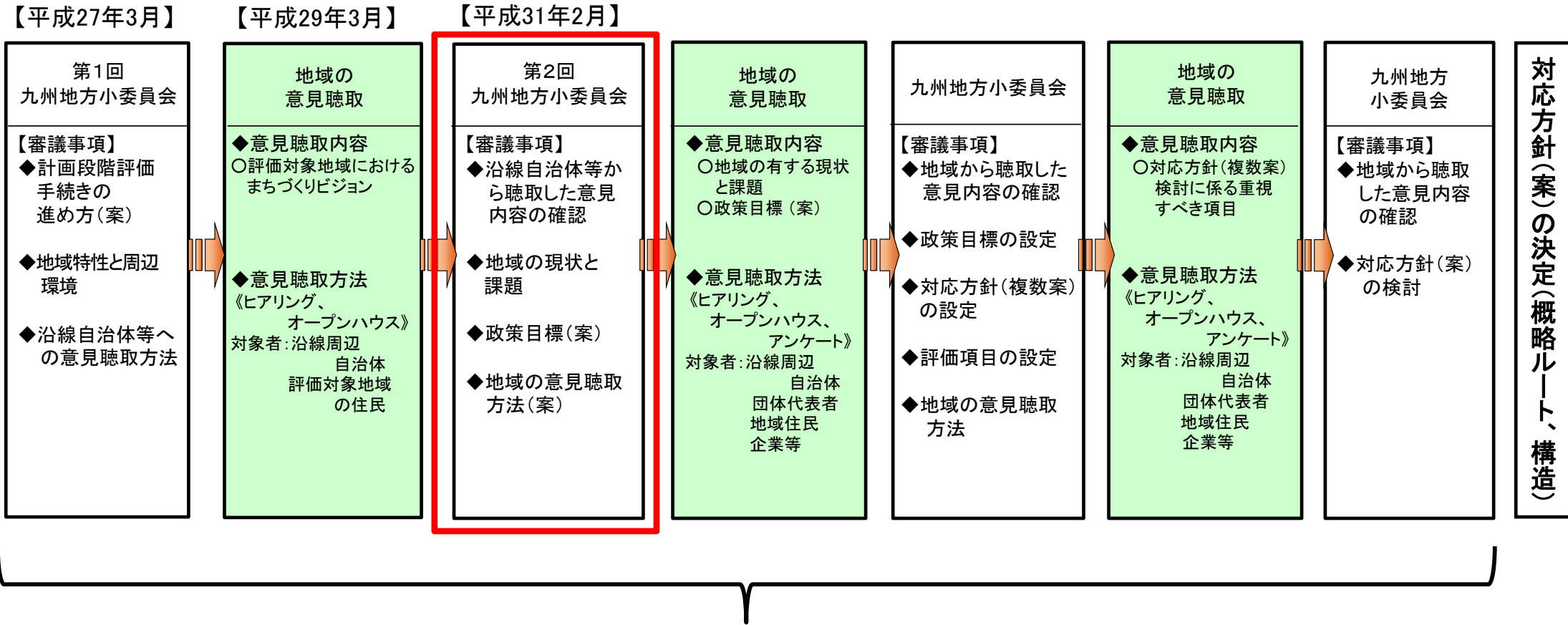
## 本日、ご審議いただく内容

- |                 |     |    |
|-----------------|-----|----|
| 1. 前回までの審議内容    | ・・・ | 2  |
| 2. 第1回意見聴取の概要   | ・・・ | 7  |
| 3. 第1回意見聴取の結果   | ・・・ | 10 |
| 4. 地域の現状と課題     | ・・・ | 16 |
| 5. 政策目標(案)の設定   | ・・・ | 24 |
| 6. 第2回意見聴取方法(案) | ・・・ | 26 |

# 1. 前回までの審議内容



# 1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地方小委員会

# 1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(1回目)>

## 九州地方小委員会(1回目)の概要

### ■実施日

平成27年3月10日

### ■主な議題

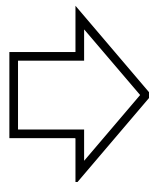
①地域特性と周辺環境

②沿線自治体等への意見聴取方法

## 九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

### 指摘事項

住民への意見聴取の際には、一部の意見をとらまえて、市街化区域の拡大に繋がるような議論にならないよう、地元自治体と連携し実施してもらいたい。



### 対応状況

住民への意見聴取にあたっては、宮崎市と連携し、都市計画マスタープランにある「新たな都市機能の立地の抑制」の基本方針、及び、対象区間の位置づけについて、丁寧に説明した。

# 1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(1回目)>

## 主な地域特性と周辺環境

### 暮らし

- 国道10号沿線は、大部分が市街化区域に指定
- 評価対象地域には通学区域が広がっている

- 国道10号は中核拠点と地域拠点を連絡する南北交通基幹軸
- 対象地域南部は生活・住宅拠点
- 評価対象地域北部は地域拠点

### 産業

- 県内の工業団地の多くは高速道路、港、空港周辺に多く点在
- 対象地域の製造品出荷額は県内の約5%
- 対象地域には、複数の工業団地が立地

- 宮崎テクノリサーチパーク周辺は物流・工業拠点として位置づけ

### 観光

- 宮崎県内の主要な観光地は県南部に多く分布
- 県全体の観光客のうち約25%が宮崎市を来訪
- 宮崎市内の観光地への移動手段の多くはマイカーやバス

- 観光施設が点在する海岸沿い(一ツ葉有料道路周辺)が観光・リゾート拠点として位置づけ

### 医療

- 県の第3次救急医療施設の多くは宮崎市中心部に位置
- 対象地域における高度医療サービスは市中心部の施設を利用

- 宮崎市中心部に位置する宮崎県立宮崎病院周辺は高度医療を提供する学術・医療拠点に位置づけ

### 防災

- 東海岸沿いは東南海・南海沖地震発生時の津波想定浸水域

- 防災拠点への緊急避難には国道10号を利用する可能性が高い
- IC周辺や対象地域北西部は、被災した際の受援、救援・救護等、後方支援機能の強化を図る地域
- 対象地域を縦貫する道路ネットワークを活用した復旧支援活動が予想

## 2. 第1回意見聴取の概要



## 2. 第1回意見聴取の概要 ~概要~

■意見聴取は、自治体ヒアリング、オープンハウスにより、以下の内容を実施した。

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細		回答状況	
自治体	ヒアリング	平成29年 3月6日(月) ～3月10日(金)	宮崎県、宮崎市、西都市、新富町 (1県3自治体)		4自治体より	
地域 住民	オープン ハウス	平成29年 3月15日(水) ～3月19日(日)	オープン ハウス 3会場	宮崎市街地部: 宮崎市役所 (平日のみ)	95票 (101人)	回答票 473票 (501人)  値は平休合計 ( )内は来場者数
				住吉地区: マルミヤストア住吉店 (平日・休日)	197票 (208人)	
				佐土原地区: 佐土原図書館 (平日・休日)	181票 (192人)	

### ■記者発表・チラシなどによる広報

- 記者発表 平成29年3月1日(水)
- 広報用チラシ・ポスター  
(県庁、市役所、各会場及び周辺施設に掲示・配布)
- 新聞折込み ○自治会回覧



▲ 広報用チラシ

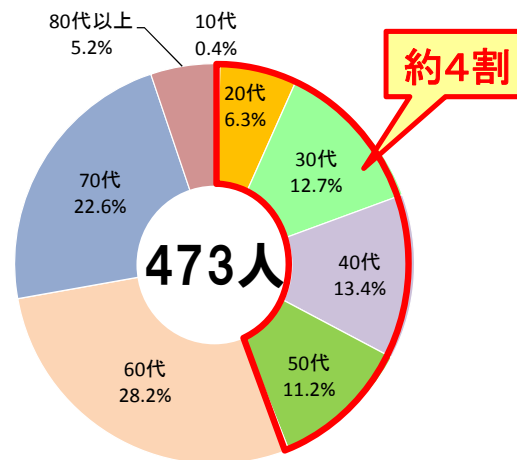


▲ ポスター設置状況

### ■オープンハウス意見聴取内訳

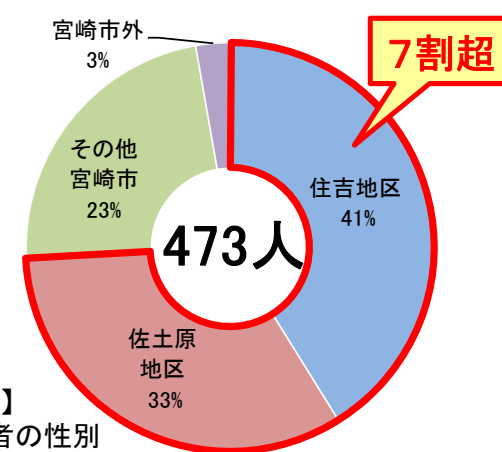
#### 【年代】

○回答者の年齢階層は、60代が3割弱と最も多く、次いで70代が2割、**20～50代の中間層が約4割**となっている



#### 【居住地】

○回答者の居住地割合は、**全体で対象地域(住吉・佐土原)が7割を超える**



#### 【参考】

回答者の性別  
男性: 64%  
女性: 36%

# 2. 第1回意見聴取の概要 ~オープンハウス~

## ■設問事項

○評価対象地域におけるまちづくりについて「望むこと」「望まないこと」を対面聞き取り方式により意見を伺った。

意見聴取シート▶

国道10号住吉街道【地域特性と周辺環境】

問：評価対象地域におけるまちづくりについて

（望むこと）

（望まないこと）

性別 氏名 年齢 年代 住居形態 住居形態-専ら住居形態-その他(一斉)

## ■オープンハウスに使用したパネル

### パネル①

1. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【計画段階評価とは】  
公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の向上を図るため、地域の課題や達成すべき目標、地域の重要課題を、種別等の比較・評価を行うことにより、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものです。

現在はこの段階です

1. 計画段階評価の準備	2. 計画段階評価の実施	3. 計画段階評価の結果の活用	4. 計画段階評価のフォローアップ
・計画段階評価の準備書の作成 ・計画段階評価の実施の準備 ・計画段階評価の実施の進捗管理	・計画段階評価の実施の準備 ・計画段階評価の実施の進捗管理 ・計画段階評価の実施の結果の活用	・計画段階評価の結果の活用 ・計画段階評価の結果の活用 ・計画段階評価の結果の活用	・計画段階評価の結果の活用 ・計画段階評価の結果の活用 ・計画段階評価の結果の活用

地方小委員会

2. 評価対象地域

○評価対象地域は、宮崎市北部に位置し、県を縦貫する国道10号と県中央部を横断する国道210号が分岐・合流する道路交差点の結節点を有する地域

【広域図】  
【拡大図】  
【拡大図】  
【拡大図】

### パネル②

3. 地域特性と周辺環境(評価対象地域周辺のネットワーク)

○評価対象地域周辺のネットワークにおいては、バイパス整備  
○国道10号の開口交差点→新宮交差点間は、4車線道路に拡幅された車線区間  
○国道10号の車線拡幅区間が、5車線を超えており、主要幹線道路に相当

3. 地域特性と周辺環境(暮らし)

○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在  
○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学  
○国道10号沿線は、国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学  
○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ

3. 地域特性と周辺環境(まとも)

地域の現状		まちづくりの進め方	
暮らし	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ
産業	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く
観光	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる
医療	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している
防災	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している

## ■オープンハウス実施状況



【宮崎市街地部:宮崎市役所】



【住吉地区:マルミヤストア住吉店】



【佐土原地区:佐土原図書館】

### パネル③

3. 地域特性と周辺環境(産業)

○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く、評価対象地域には、宮崎テクノパーク、住吉工業団地、新宮工業団地が立地し、製造品出荷率も高い  
○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く、評価対象地域には、宮崎テクノパーク、住吉工業団地、新宮工業団地が立地し、製造品出荷率も高い

3. 地域特性と周辺環境(観光)

○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる、観光客の約20%が宮崎市内を訪れる  
○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる、観光客の約20%が宮崎市内を訪れる

3. 地域特性と周辺環境(防災)

○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している  
○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している

### パネル④

3. 地域特性と周辺環境(医療)

○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している  
○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している

3. 地域特性と周辺環境(防災)

○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している  
○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している

### パネル⑤

3. 地域特性と周辺環境(まとも)

地域の現状		まちづくりの進め方	
暮らし	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ	○国道10号沿線は、大部分が市街地内に所在 ○評価対象地域は国道10号が中心、国道10号、その他道路を利用し、通学 ○国道10号が南北幹線道路、対象地域南部は生活・住宅地帯、北部が地域拠点として位置づけ
産業	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く	○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く ○宮崎市内の工業団地の多くは国道10号、津、安濃川沿いに多く
観光	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる	○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる ○宮崎市内の観光資源は多岐にわたる
医療	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している
防災	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している	○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している ○宮崎市内には、宮崎大学病院をはじめとする医療機関が数多くあり、医療サービスは充実している

# 3. 第1回意見聴取の結果



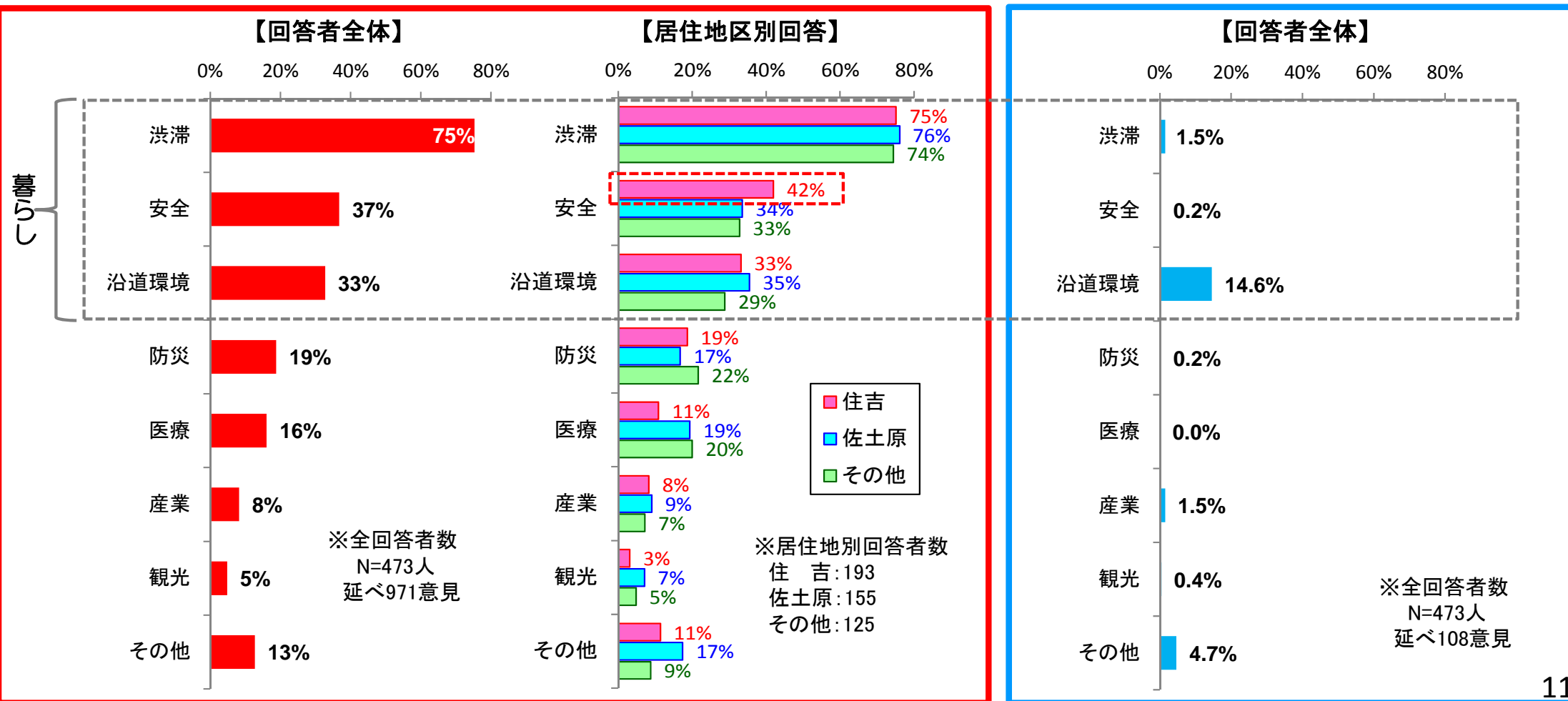
### 3. 第1回意見聴取の結果 ~オープンハウス~

#### ■ 主な意見(カテゴリー)の整理

- まちづくりに望むことは971意見、望まないことは108意見と、望むことを多く回答している
- 望むことでは、暮らしに関する意見が多く、そのうち、約8割の人が「渋滞」への懸念や解消への期待の声を寄せており、次いで、渋滞による「(道路の)安全」や「沿道環境」への影響に対する対策を求める声が多いが、特に混雑する「住吉地域」で安全を求める声が多い
- 望まないことでは、街や商店の衰退、開発等による環境の悪化を懸念する声が多い

「まちづくりに望むこと」(複数回答)

「まちづくりに望まないこと」(複数回答)



### 3. 第1回意見聴取の結果 ~オープンハウス~

#### ■暮らしに関する主な意見

■望むことの見解 ■望まないことの見解 (回答者の居住地)

- 幹線道路がしっかりした円滑な移動ができるまちづくりを望む。(渋滞:住吉地区)
- 朝、夕の渋滞で、佐土原と宮崎市間の移動時間の想定が困難である。(渋滞:佐土原地区)
- 交通体系が整備され、中心部までの移動時間が短縮されることを望む。(渋滞:その他宮崎市)
- 混雑がまちづくりや地域の活性化に悪い影響を与えていると思う。(渋滞:佐土原地区)
- 住吉地区は、安全面からも渋滞問題が最優先である。(渋滞:住吉地区)
- 子供たちの通学路の危険性が増しているため、高齢者や子供たちが安心安全に暮らせるまちであって欲しい。(安全:住吉地区)
- 住吉地区の買い物客等の賑わいが保たれたまちづくり。(沿道環境:佐土原地区)
- 幹線道路としての機能が低下することは望まない。(渋滞:その他宮崎市)
- 生活道路に通過交通が入るなどして、危険な状態は望まない。(安全:住吉地区)
- バイパス整備による現道沿いの市街地衰退は望まない。(沿道環境:その他宮崎市)

### 3. 第1回意見聴取の結果 ~オープンハウス~

■暮らし以外に関する主な意見

■望むことの見解

■望まないことの見解 (カテゴリー: 回答者の居住地)

- 災害に強い道路を望む。(防災: 住吉地区)
- 防災への備えが整っているまちづくりが必要。(防災: 住吉地区)
- 救急車の安全な追い越しが困難でスピードが上がらない点の改善が必要。(医療: 佐土原地区)
- 人の命を優先するまちづくりを望む。(医療: 住吉地区)
- 産業と商業がうまく連携し、若い人が増えるベットタウンとなるように、企業誘致を進めて魅力あるまちづくりが必要。(産業: 住吉地区)
- 観光振興の面からも渋滞緩和を望む。(観光: 佐土原地区)
- 早期の実現を望む。(その他: 佐土原地区)
- 工業団地の開発は望まない。(産業: 住吉地区)
- コスト高で費用対効果に見合わない道路は望まない。(その他: その他宮崎市)

### 3. 第1回意見聴取の結果 ～自治体ヒアリング～

#### 【宮崎県】

- ・宮崎環状道路の一部を構成し、宮崎北部地域と宮崎市中心市街地を結ぶ基幹交通網軸として「サービス速度向上」が必要
- ・自動車利用の観光客が県内外から通年で宮崎市に集中。観光交通の円滑な移動経路として慢性的渋滞の解消が必要
- ・当該地域を含め北部方面から県立宮崎病院(第3次救急医療施設)への主要な救急搬送経路で沿線地域における「命の道」として「安定した走行環境の確保」が必要
- ・防災時の重要な道路(第1次緊急輸送道路)であり、災害時の避難や緊急物資の支援ルートとしての機能向上が必要

#### 【宮崎市】

- ・合併後の市の一体化及び交流・連携の強化を図る都市形成軸に位置づけており、本市都心部と北部の佐土原地域および西部の高岡地域を結ぶ重要な幹線道路
- ・住吉地域以北の安定した医療提供のため、医療が充実する本市中心部への救急搬送ルートとして整備が必要

#### 【西都市】

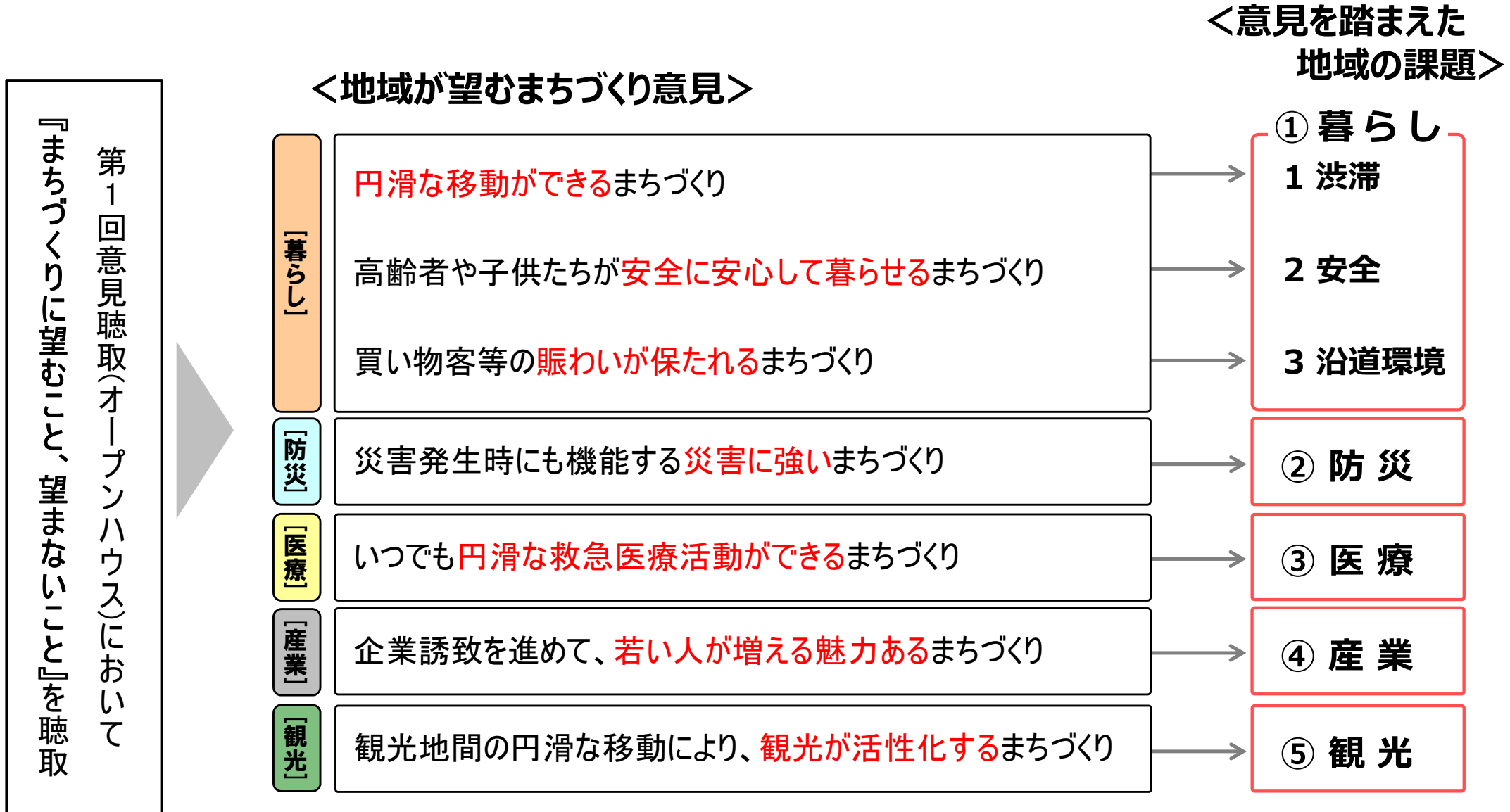
- ・宮崎市への通勤・通学の利便性が向上し、西都市の定住人口の増加や、人口減少に歯止めが見込まれるような都市間の幹線軸として渋滞解消が必要

#### 【新富町】

- ・宮崎市への通勤・通学の利便性が向上し、新富町の産業・経済効果を高めるため宮崎市内からの誘客増加や流通の効率化が図られるような都市間の幹線軸として渋滞解消が必要

### 3. 第1回意見聴取の結果 まとめ

○意見聴取の結果、「暮らし」については、地域の関心が高く、特に意見が多かったことから、暮らしのカテゴリーを「渋滞」「安全」「沿道環境」の3つに分類し、地域の現状と課題、政策目標(案)を整理する。

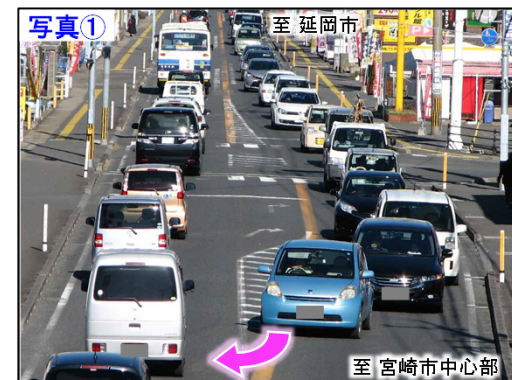
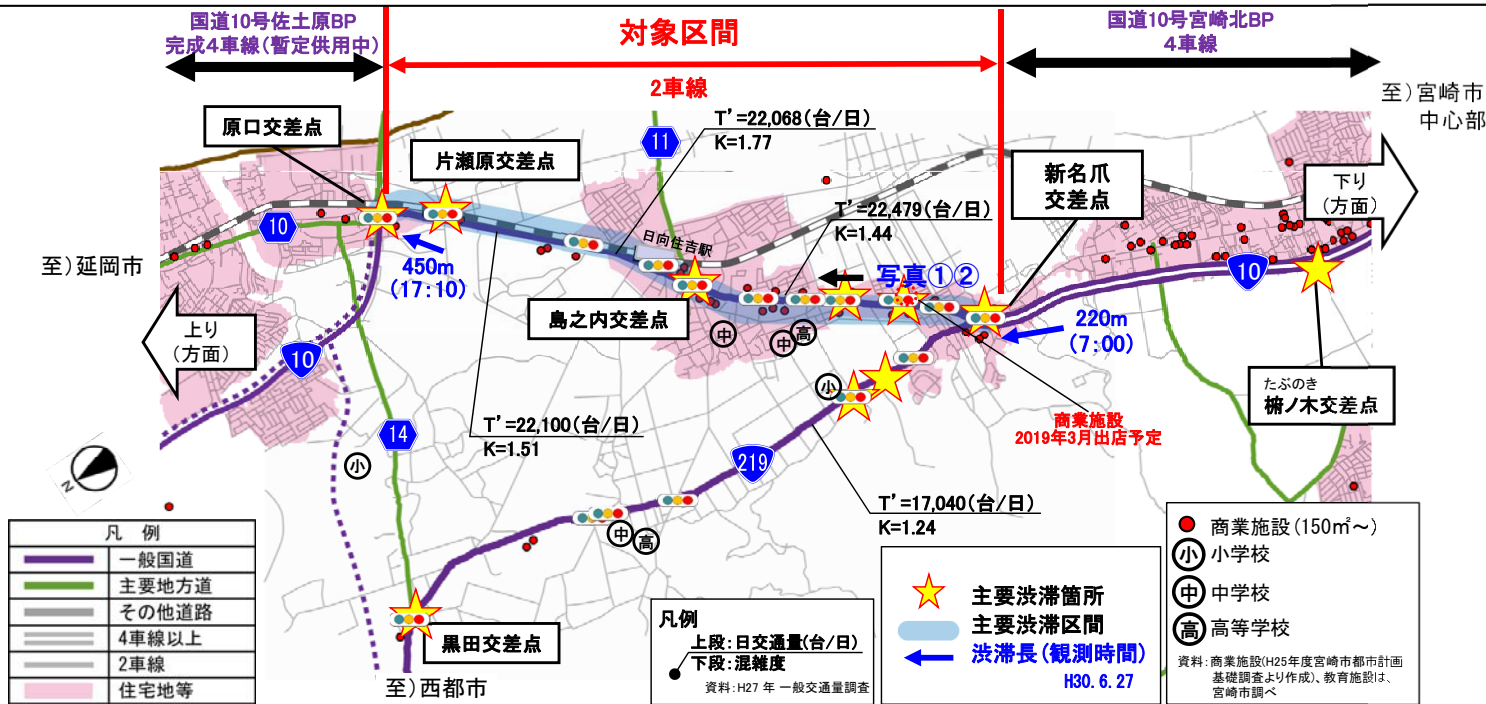




## 4. 地域の現状と課題

# 4. 地域の現状と課題 <暮らし・・・①-1 渋滞>

- 対象区間は、**4車線道路に挟まれた2車線区間**であり、交通容量を上回る2.2万台/日の交通が集中し、平日、休日ともに渋滞が発生している
- 対象区間は、**主要渋滞箇所が6箇所と集中**し主要渋滞区間となっており、**特に休日の速度低下が著しく、沿線店舗への出入交通が渋滞に拍車をかけている**



▲ 国道10号から沿道施設への出入による影響

- 通勤時に混雑し、**時間が読めない。**
  - 混雑時は店舗から右折で出られないため**左折して出る**こともある。
  - 渋滞がひどくて**買物を取り止める**こともある。また、お店から帰るのに**出づらくて困る。**
- (地域住民オープンハウス) H29.3

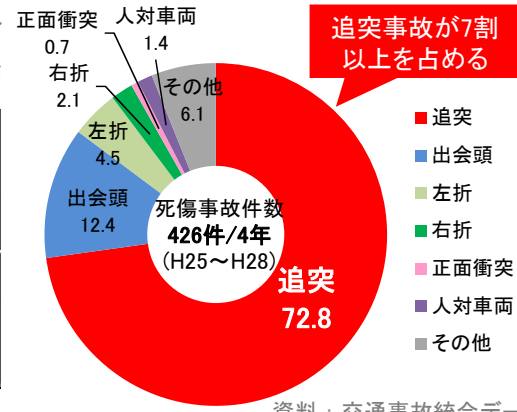
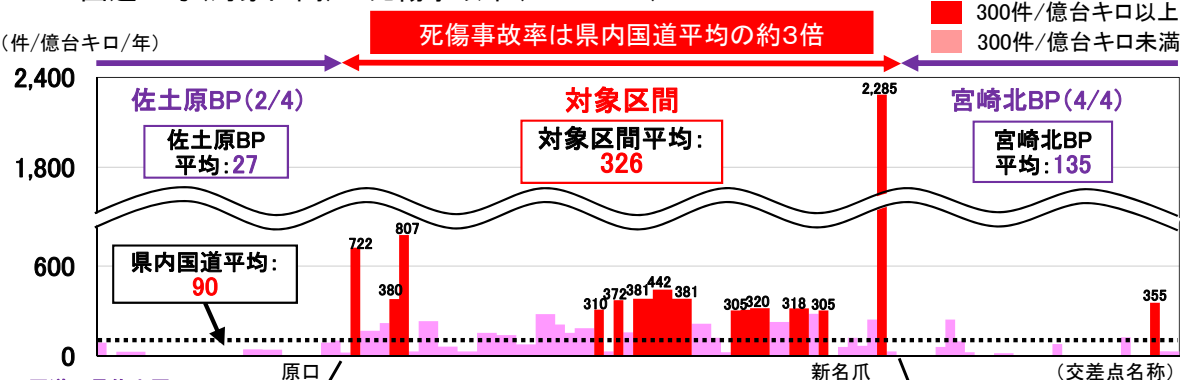




# 4. 地域の現状と課題 <暮らし・・・①-2安全>

- 対象区間の平均死傷事故率は前後区間の平均及び県内国道平均と比べ高い状況であり、**追突事故が7割以上**
- 渋滞だけでなく、**沿線店舗等への出入交通も多い**ため、自動車交通の安全確保が課題である
- 国道や交差する市道等は**通学路指定**されているが、**歩道未設置区間**があり、歩行者の安全確保が課題である

■ 国道10号(対象区間)の死傷事故率(H25~H28)



▲ 歩行者状況(国道10号)



▲ 国道10号(対象区間)の交通事故分類 (H25~H28)



▲ 歩行者状況(国道10号)



▲ 生活道路(通学路)への通過車両進入状況

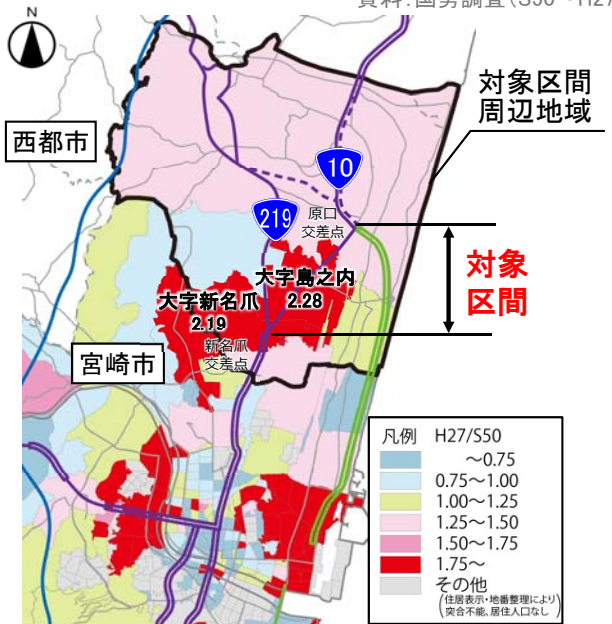
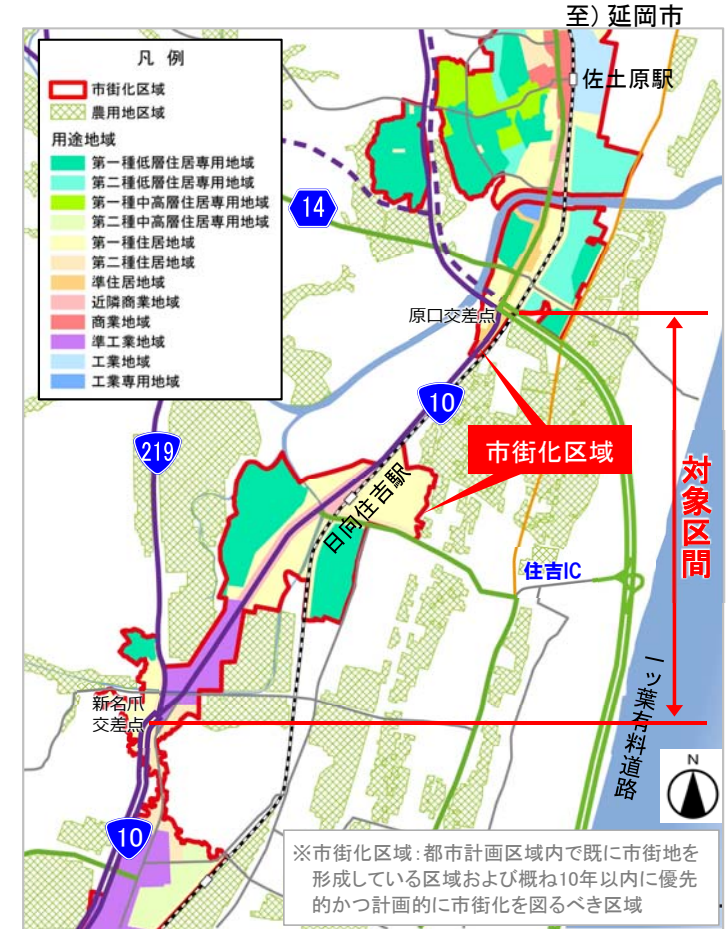
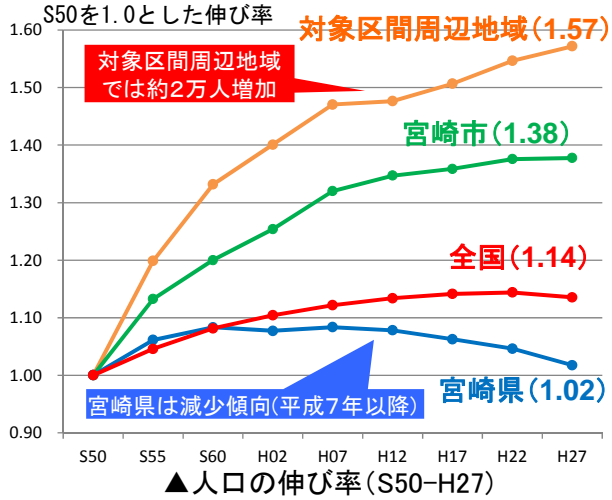
- 歩道の幅も狭いため、**歩行者や自転車にも危険が多い**。(宮崎北警察署ヒア)H24
- 国道10号は地域の生活道路でもあるので、**地元に関係ない車は排除して欲しい**。(地域住民オープンハウス) H29.3
- 住吉地区は学校が多いので、生徒が安心して通学できる道路整備**をお願いしたい。(地域住民オープンハウス) H29.3
- 国道10号の渋滞がひどく、地域の生活道路が迂回路になっていることから、**子供たちの通学路の危険性が増しているため、高齢者や子供たちが安心して暮らせるまち**であって欲しい。(地域住民オープンハウス)H29.3





# 4. 地域の現状と課題 <暮らし・・・①-3沿道環境>

- 宮崎県の人口が減少する中、対象区間周辺地域は**増加傾向**にある
- 国道10号周辺は、市街化区域の拡大・用途地域指定による都市機能誘導で**計画的なまちづくり**が行われている
- 一方で、交通環境の変化による**既成市街地の衰退**や新たな道路整備による**無秩序な市街化への懸念**が課題である



- 青島や堀切峠のようにバイパス整備により**旧道沿いの街が衰退**するようなことは望まない。(地域住民オープンハウス) H29.3
- 近場で日常の買物ができなくなると困るので、**住吉地区の賑わいが保たれたまちづくり**。(地域住民オープンハウス) H29.3



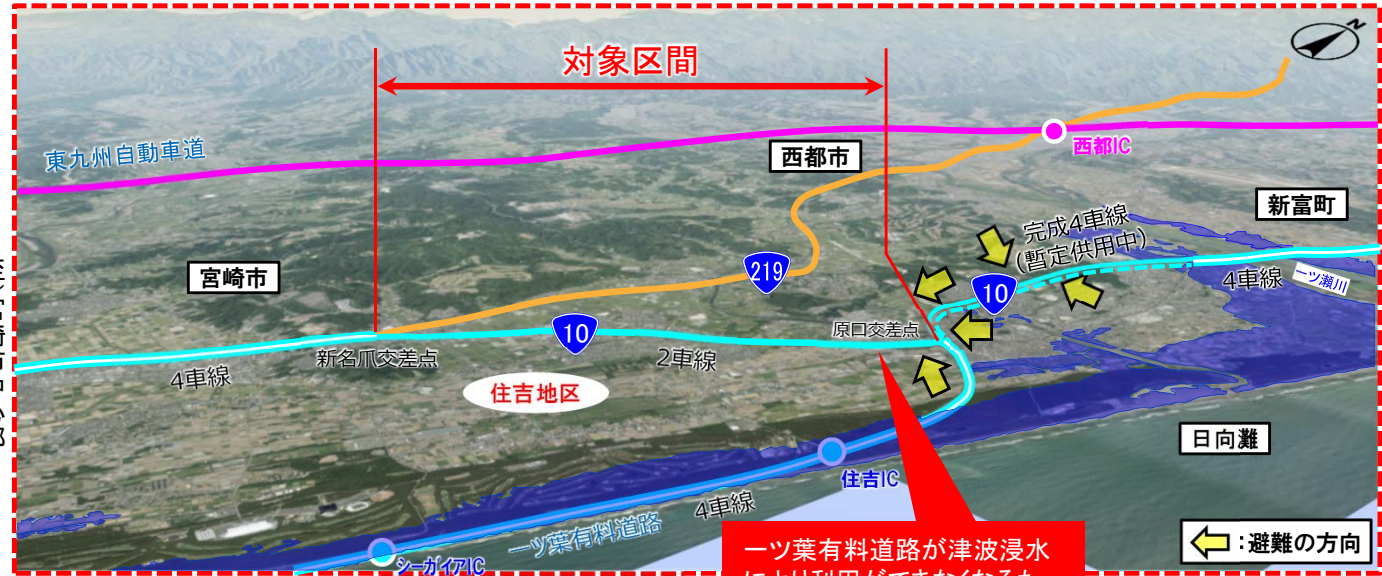


# 4. 地域の現状と課題 < ②防災 >

- 宮崎県の東海岸沿いは、南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定区域となっている
- 国道10号は、緊急輸送車両の通行を確保するため緊急交通路の最優先予定道路の代替路線に指定されている
- 対象区間の国道10号は2車線であるため、緊急避難時の交通集中による容量不足が生じ、緊急交通路として機能不全に陥ることが懸念される



資料: 宮崎県津波浸水想定 (H25.2)  
 宮崎市地震津波対策インフラ構想 (H25.10)  
 宮崎市津波ハザードマップ (H25.12)  
 宮崎市地域防災計画 (H26.5)



緊急交通路		津波浸水想定区域	
— A: 最優先予定道路	● 防災拠点 (災害対策本部)	■ 津波浸水想定区域	
— B: Aが使用できない場合の代替路線	● 防災拠点 (指定避難場所)		
— A・Bが使用できない場合の予備路線	— 4車線以上		
	— 2車線		

※緊急交通路とは、災害対策基本法に基づき、被災者の避難路の確保、傷病者の搬送、救急・救護活動、救急物資輸送等に要する緊急輸送車両の通行を確保するため、県公安委員会が指定された路線

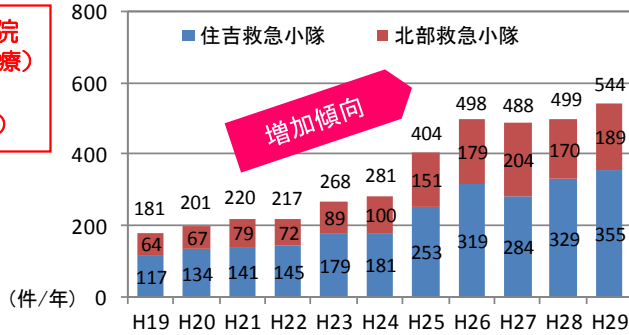
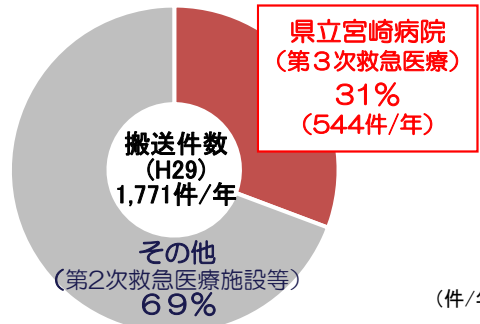
○津波に対する意識が上がっていて一ツ葉有料道路は津波時に使えないので、**災害に強い道路を望む。**  
 (地域住民オープンハウス) H29.3



▲ 津波浸水想定区域および緊急交通路の位置づけ

# 4. 地域の現状と課題 < ③医療 >

- 対象区間周辺の救急搬送では、約3割が第3次救急医療施設の県立宮崎病院へ搬送されており、**年間の救急搬送件数が増加傾向**にある
- 対象区間は、沿道店舗への出入りが多く、**急ブレーキ等で救急搬送患者への負担が大きい**区間となっている
- 県立宮崎病院までの所要時間は、混雑時と非混雑時で開きがあり、**安定した救急搬送の確保**が課題である



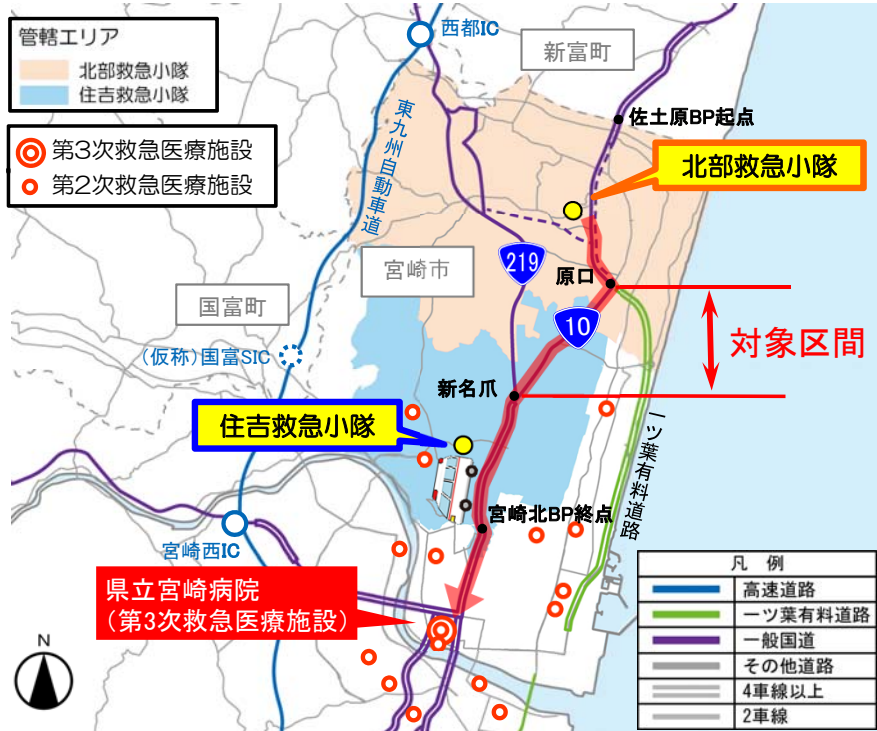
○この地区の渋滞と信号の多さ (11箇所/5km) は、**患者への負担**が大きい。

○この地区の搬送時間にばらつきがあるため、常に**渋滞状況を気に掛けながら活動**せざるを得ない状況である。

(宮崎市消防局ヒア) H26

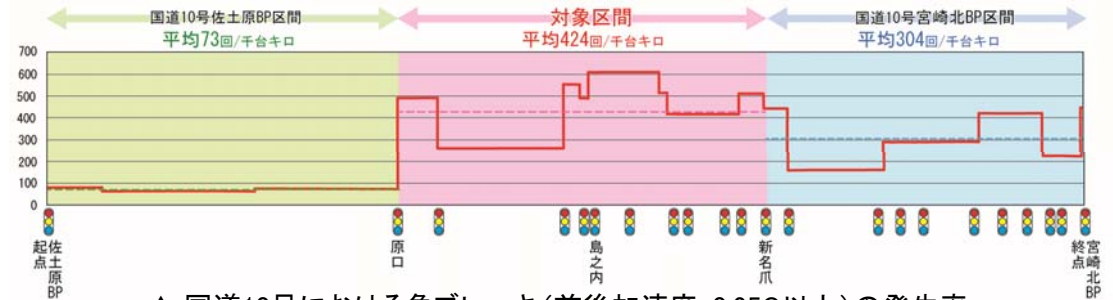


▲ 北部・住吉救急小隊からの救急搬送先 ▲ 県立宮崎病院への救急搬送件数の推移  
資料: 宮崎市消防局(H29) 資料: 宮崎市消防局、東児湯消防組合(H19-H29)



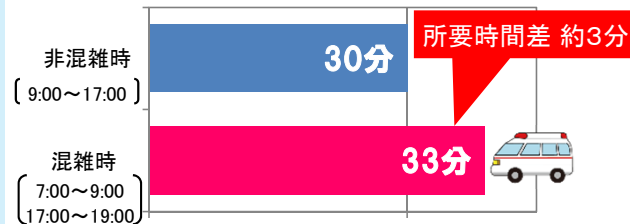
▲ 救急隊管轄エリア・救急医療施設位置

▲ 渋滞区間を通過する救急車



▲ 国道10号における急ブレーキ(前後加速度-0.25G以上)の発生率

資料: ETC2.0データ(H29.4.1~H30.3.31)



▲ 北部救急小隊から県立宮崎病院への混雑時と非混雑時所要時間の比較

資料: ETC2.0データ(H29.4.1-H30.3.31)

○家族が救急車で県立病院へ搬送された時に、同乗を経験したが、国道10号住吉地区は**追い越しが出来ず、なかなかスピードが上がらなかつた**。宮崎北バイパスを走行する時はスムーズだった。

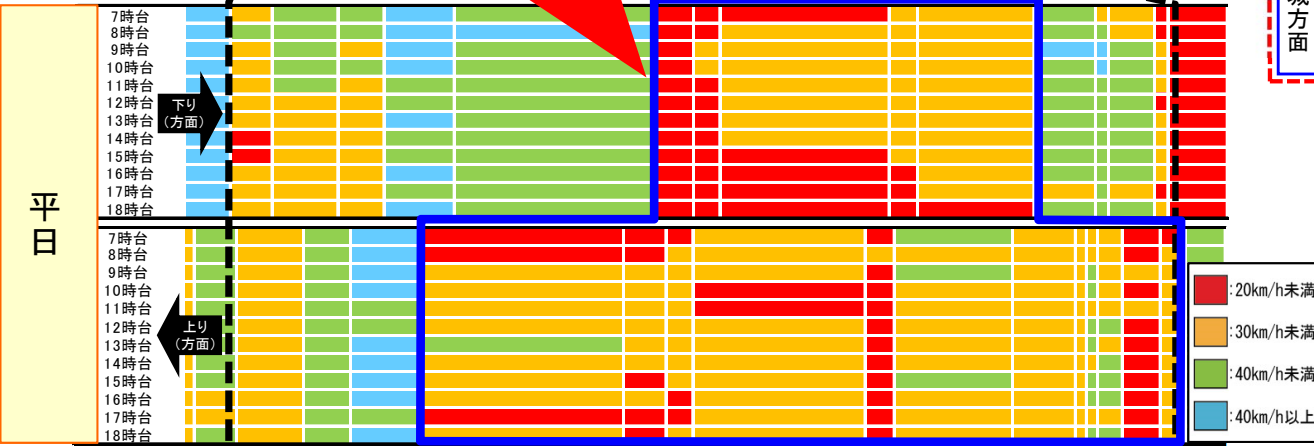
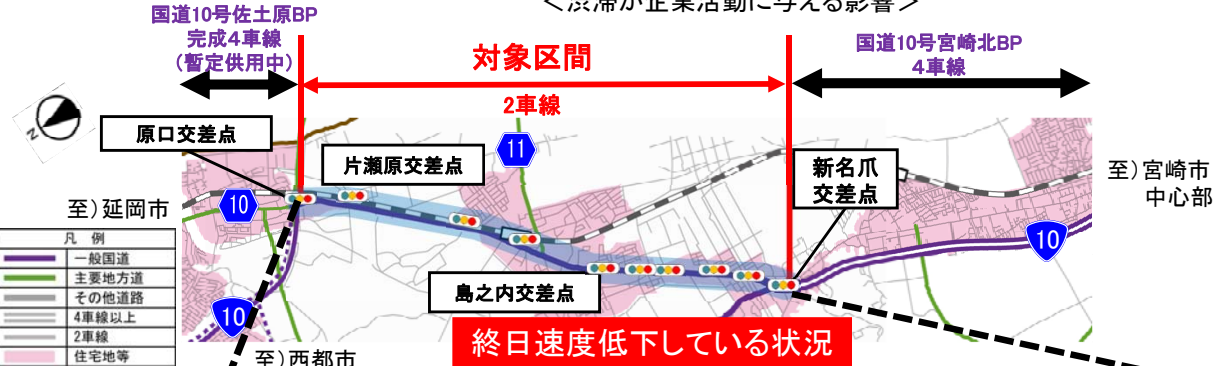
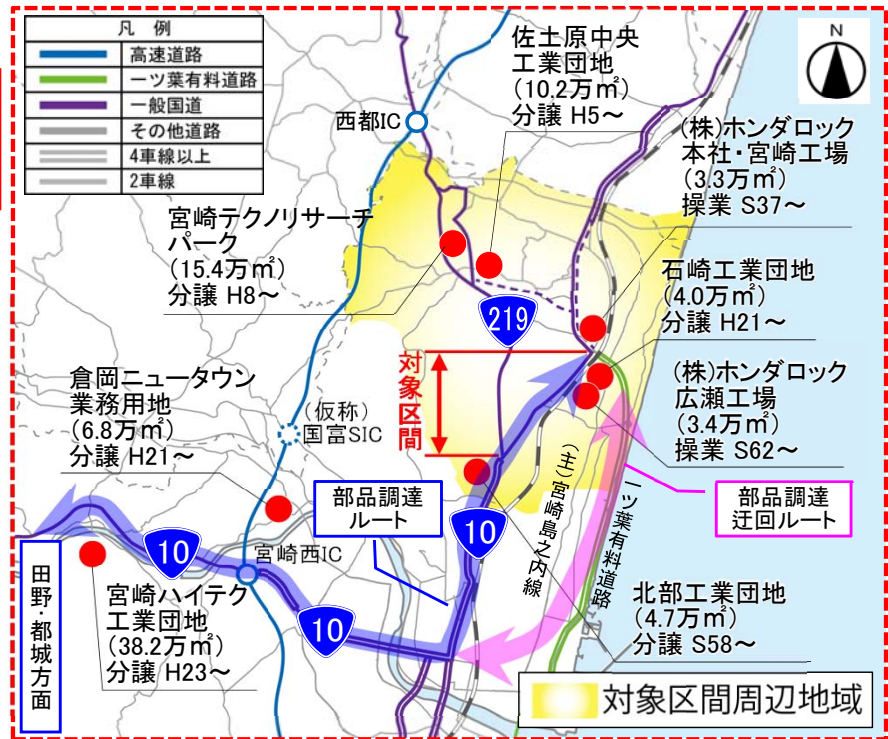
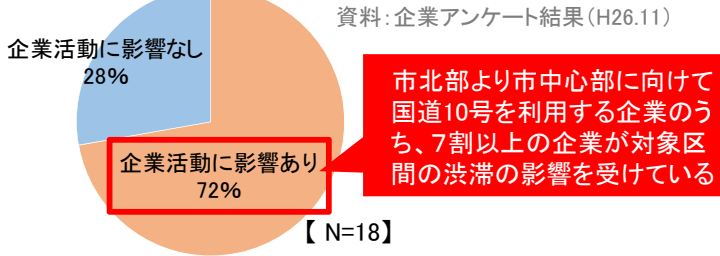
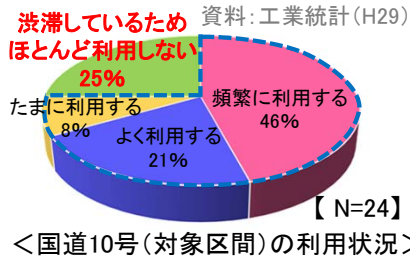
(地域住民オープンハウス) H29.3





# 4. 地域の現状と課題 < ④産業 >

- 宮崎市の製造品出荷額は宮崎県内第3位であり、対象区間沿線には宮崎テクノリサーチパークや北部工業団地等の**産業拠点が立地**している
- 国道10号が渋滞しているため、周辺の県道や市道等を利用しており、**無駄な迂回とコストが発生**している
- 対象区間周辺の国道10号を利用している企業の多くが、**渋滞により企業活動に影響**を受けている



- 住吉地区の国道10号の**渋滞により、部品供給のレスポンスが悪い**ため、部品調達は東側の市道や(主)宮崎島之内線、一ツ葉有料道路を利用している。
- 住吉地区の国道10号が渋滞するため、**沿道にあった工場を本社近隣に移転**した。(製造企業ヒアリング) H28.1
- 住吉地区の国道10号が渋滞するため、東側の(主)宮崎島之内線等を利用し、**無駄な迂回が生じている**。
- 国道10号を渋滞なく利用できれば、無駄な迂回がなくなるため、**輸送コスト削減**につながり助かる。(物流輸送ヒアリング) H28.2

# 4. 地域の現状と課題 < ⑤観光 >

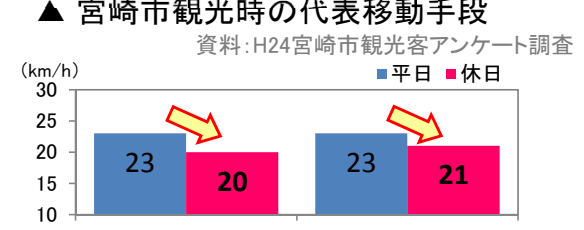
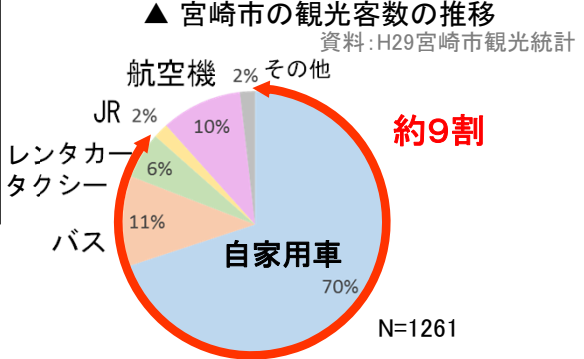
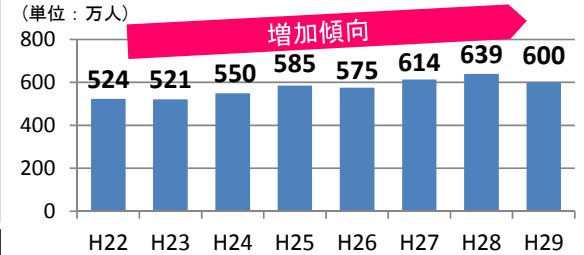
- 宮崎県内には数多くの観光地があり、対象区間周辺にも**著名な観光施設等が存在している**
- 宮崎市内の観光客数は増加傾向にあり、観光地への移動手段は、多くが**自家用車やバス**を利用している
- 対象区間の休日における混雑時速度は平日の混雑時を下回り、**観光地への円滑な移動を阻害している**



▲ 宮崎県の主要観光施設  
資料：宮崎県観光入込客統計調査(H29)  
※主要観光施設：利用客上位20位までの施設



▲ 対象区間周辺の主要観光施設  
資料：宮崎市観光統計(H29)



○国道10号を利用して観光地へ向かうバスは、**渋滞により生じる遅れについて利用者から苦情**がある。  
(交通事業者ヒアリング) H30





# 5. 政策目標(案)の設定

# 5. 政策目標(案)の設定(地域の現状・課題と道路による要因)

	地域の現状と課題	道路による要因	政策目標(案)
【暮らし】	<b>①-1 渋滞</b> ○対象区間は4車線道路に挟まれた2車線区間 ○対象区間には主要渋滞箇所が集中 ○平日・休日ともに終日渋滞が発生	○2車線の交通容量を上回る交通が集中 ○地域関連交通と通過交通の混在 ○沿線店舗への出入による交通阻害	①交通環境の改善
	<b>①-2 安全</b> ○追突が7割以上、死傷事故率は県内平均の約3倍 ○駅や学校が多数集中し、歩行者・自転車が多い ○生活道路を抜け道として利用する交通が多い	○渋滞による断続的な発進・停止、沿線店舗への出入に伴う加減速 ○歩道未設置区間があり安全性が低い ○渋滞を回避した生活道路への交通進入	
	<b>①-3 沿道環境</b> ○市内でも主要な住宅地であり、人口は宮崎市平均を上回る伸び率で増加 ○用途地域を指定し計画的なまちづくりを実施	○交通環境の変化による既成市街地の衰退、新たな道路整備による無秩序な市街化を懸念	②沿道環境の保全
【防災】	<b>② 防災</b> ○緊急避難時の対象区間への交通集中を懸念	○2車線道路であり交通容量が不足	③信頼性の高い緊急交通路の確保
【医療】	<b>③ 医療</b> ○第3次救急医療施設への搬送に支障 ○急な加減速による救急搬送患者への負担	○渋滞による所要時間のばらつき ○渋滞や交差点での加減速	④医療施設への速達性・走行性向上
【産業】	<b>④ 産業</b> ○渋滞による無駄な迂回とコスト等が発生し企業活動に支障	○渋滞による所要時間のばらつき	⑤速達性・信頼性の向上による産業の支援
【観光】	<b>⑤ 観光</b> ○観光地への円滑な移動を阻害	○観光交通が多くなる休日が特に渋滞	⑥速達性・信頼性の向上による観光振興の支援

## 6. 第2回意見聴取方法について

# 6. 第2回意見聴取方法について

## 1. 意見聴取の基本方針

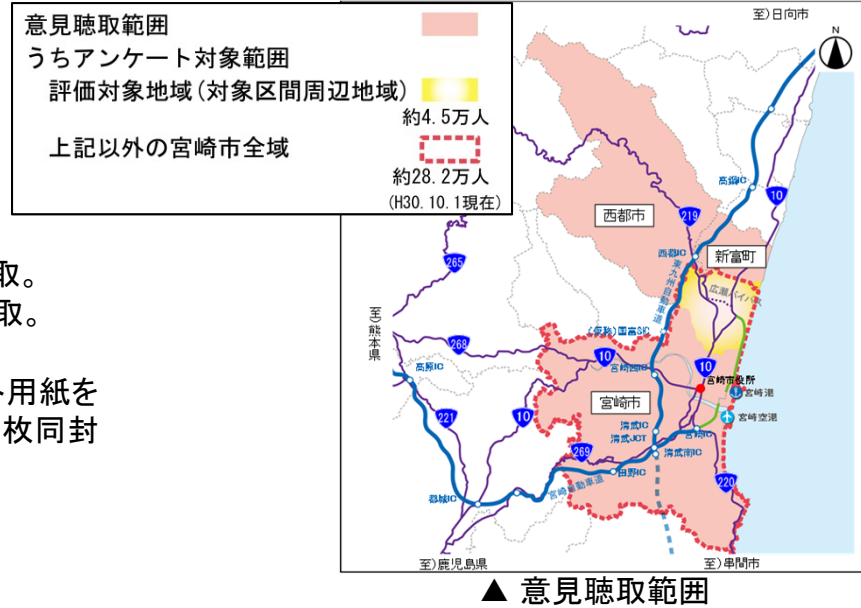
地域の課題・政策目標(案)に対する意見を伺う。

## 2. 意見聴取の対象

- ※1 ヒアリングは、地域の代表者および企業等へ対面方式での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。  
オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を郵送し意見聴取。(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)

## 3. 意見聴取の設問

■地域の課題、道路・交通の課題について



対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体および団体代表者】宮崎市周辺地区の団体などへの意見聴取	
	沿線自治体:宮崎県、宮崎市、西都市、新富町	4自治体
	各団体等:トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所、消防署、警察、観光協会、農協、学校など	20団体程度
	【企業等】周辺地区の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】市役所等にオープンハウスを設置	
	宮崎市(市街地部、住吉地区、佐土原地区):宮崎市役所等	3箇所
アンケート ※3	【地域住民】沿線の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	評価対象地域周辺の世帯に抽出配布(約4.5万人:20歳以上)	約1,000部(抽出)
	上記以外の宮崎市全域を対象に抽出配布(約28.2万人:20歳以上)	約6,200部(抽出)
	【地域住民】沿線の住吉小学校保護者にアンケート用紙を配布し意見聴取	
	住吉小学校保護者(931人)(H30.4.23現在)	931部(全員)
留置き	【広域的な道路利用者】道の駅にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し意見聴取	
	宮崎市:道の駅「高岡」「田野」「フェニックス」 都農町:道の駅「都農」	4箇所

# 6. 第2回意見聴取方法について

## 4. 住民アンケート（案）

### ① 調査概要

#### ■ 調査の主旨を説明

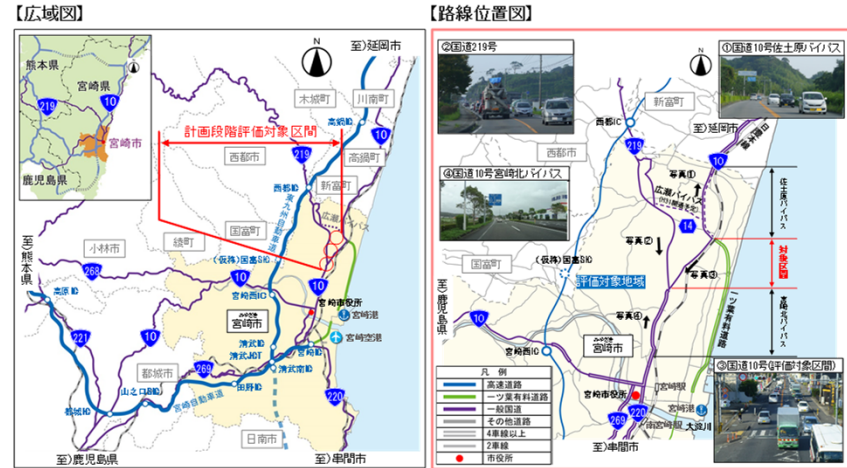
# 国道10号 住吉道路 第2回 アンケート調査

平成●●年●月

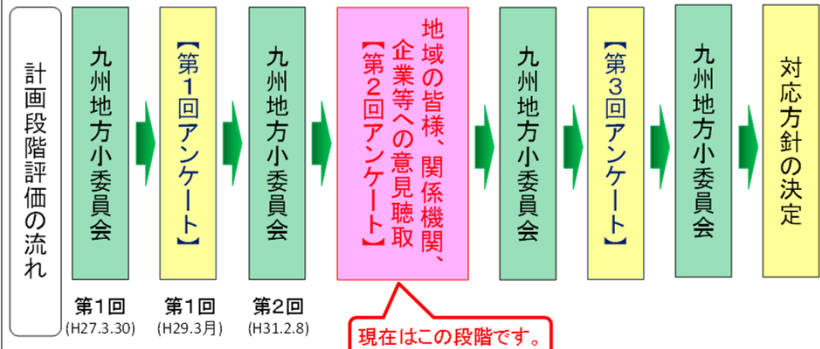
国土交通省 九州地方整備局

問い合わせ先 宮崎河川国道事務所調査第二課  
TEL: 0985-24-8502 (直通)  
TEL: 0985-24-8221 (代表)

### 国道10号対象地域位置図(住吉・佐土原地区)



■ アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。  
国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。  
これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、関係機関、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会  
九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。  
なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

# 6. 第2回意見聴取方法について

## 4. 住民アンケート（案）

### ②アンケート調査票

#### ■地域や道路の課題について説明・意見聴取

#### 住吉・佐土原地区における国道10号の道路計画に関する第2回アンケートにご協力をお願いいたします

国道10号は福岡県北九州市を起点として宮崎市から鹿児島県鹿児島市に至る延長464kmの道路です。

本調査は住吉・佐土原地区における国道10号の道路整備の計画検討を進めるにあたり、皆様のご意見をお聞きするものです。

本アンケートにご協力をお願いいたします。

#### ■アンケート対象者

本アンケートは、宮崎市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。

○本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

○幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いいたたく、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させて頂いております。  
(対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用下さい。)

○なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、1ページの問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

#### ■回答の提出方法及び締切

○回答は、同封しています「返信はがき」にご記入頂き、平成●●●年●●月●●日(●)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

#### アンケートの目的

このアンケートは、国道10号(住吉・佐土原地区)の地域や道路交通の課題について皆様のご意見をお聞きするものです。

お聞きした「地域や道路交通の課題」については、政策目標等と合わせてルート帯等を検討する際の参考とします。

なお、最終的なルート帯については、九州地方小委員会の意見を踏まえ決定します。

頂いた回答はアンケート以外の目的で使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせ下さい。

返信はがきに記載されている「地域や道路交通の課題」①～⑤までの番号は、4、5ページの『国道10号(住吉・佐土原地区)の課題』番号と同じ項目を示しています。

#### ●評価の考え方(4、5ページ)



#### ●返信はがき

問4-1 国道10号(住吉・佐土原地区)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。  
(5段階評価: 1～5の課題それぞれ該当する箇所につだけ○をつけてください)

番号	課題	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1-1	渋滞が発生している					
1-2	車の事故も多く、歩行者への安全性も低い					
1-3	今の市街地の道路や無軌道な歩行者への懸念					
2	災害時に緊急交通路として信頼性が低い					
3	救急施設までの到達時間がかかる					
4	無軌道歩行者など企業活動に支障					





# 6. 第2回意見聴取方法について

## 4. 住民アンケート（案）

### ② アンケート調査票

#### ■ 地域や道路の課題について説明・意見聴取

### 国道10号(住吉・佐土原地区)の課題

#### 1 【暮らし】 渋滞の発生や歩行者等の安全性確保、無秩序な市街化の懸念が課題

##### 渋滞

- 対象区間である国道10号原口交差点～新名爪交差点間は4車線道路に挟まれた2車線区間であり、平日、休日ともに渋滞が発生しています。
- 平日に比べ休日の方が速度低下がひどく、沿線店舗への出入交通が渋滞に拍車をかけています。



▲ 渋滞の状況



▲ 沿道施設から国道10号への出入による影響(写真)

##### 安全

- 対象区間の事故件数(台キ口あたり)は前後区間の平均及び県内国道平均と比べ多い状況であり、沿線店舗等への出入交通も多いため、自動車の安全確保が課題となっています。
- 国道や交差する市道等は通学路となっていますが、歩道未設置区間があり、歩行者の安全確保が課題となっています。



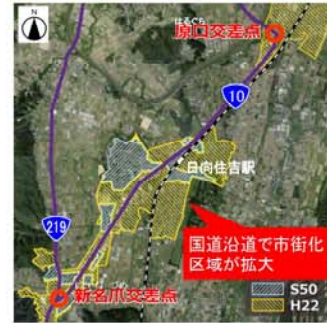
▲ 歩行者状況(国道10号)



▲ 生活道路(通学路)への通過車両進入状況

##### 沿道環境

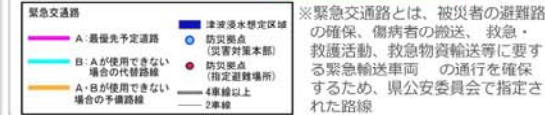
- 対象区間周辺地域の人口は増加傾向にあり、住宅や店舗が多く立地し、市街化区域が拡大しています。
- 自動車への依存が高いこの地域では交通環境の変化による既存市街地の衰退や新たな道路整備による無秩序な市街化への懸念が課題となっています。



▲ 対象区間沿線の市街地分布(S50-H22)

#### 2 【防災】 災害時に緊急交通路として信頼性が低い

- 国道10号は緊急輸送車両の通行を確保するため、緊急交通路の最優先予定道路の代替路線に指定されています。
- 対象区間の国道10号は2車線であるため、緊急避難時の交通集中によって渋滞が発生し、緊急交通路\*として機能しないことが懸念されます。



#### 3 【医療】 救急医療施設までの搬送時間がかかる

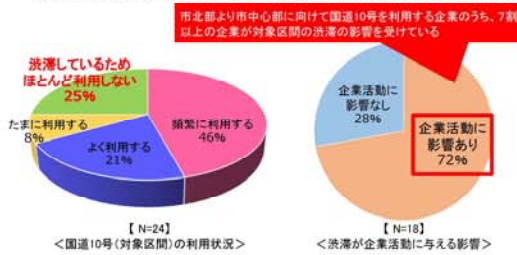
- 対象区間周辺地域では、第3次救急医療施設の県立宮崎病院への救急輸送件数が増加傾向にあります。
- 県立宮崎病院までの所要時間は混雑時と非混雑時で開きがあり、安定した救急輸送の確保が課題となっています。



▲ 救急隊管轄エリア・救急医療施設位置

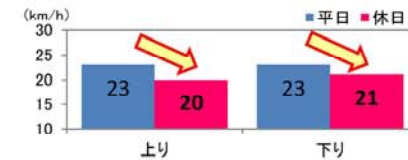
#### 4 【産業】 無駄な迂回など企業活動に支障

- 宮崎市の製造品出荷額は宮崎県内第3位であり、対象区間沿線には宮崎テクノリサーチパークや北部工業団地等の産業拠点が立地しています。
- 対象区間周辺の国道10号を利用している企業の多くが渋滞により企業活動に影響を受けており、さらに(主)宮崎島之内線等を利用し、無駄な迂回と輸送コストが発生しています。



#### 5 【観光】 観光地への円滑な移動ができない

- 宮崎県内には数多くの観光地があり、対象区間周辺にも著名な観光施設等が存在しており、宮崎市内の観光客数は増加傾向にあります。
- 観光地への移動手段は、自家用車やバス利用が多く、休日の混雑時速度は平日の混雑時を下回り、観光地への円滑な移動を阻害しています。



▲ 平日・休日の混雑時速度比較(国道10号 原口交差点～新名爪交差点)

資料: 速度データ(H29.4～H30.3)混雑時  
 平日 上り:17時台 下り:17時台  
 休日 上り:15時台 下り:18時台  
 ※上り:延岡市方向、下り:宮崎市方向

# 6. 第2回意見聴取方法について

## 4. 住民アンケート（案）

### ②アンケート調査票

#### ■ 地域や道路の課題について説明・意見聴取

意見聴取にお答えください（回答は返信はがきにご記入ください）

下記を参考に、同封のはがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

- ・ **単一回答**の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。
- ・ **自由回答**の設問は、具体的な内容を回答してください。
- ・ **5段階評価**の設問は、各課題の該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください。

**問1 国道10号の利用頻度について**

普段、住吉・佐土原地区の国道10号をどの程度利用していますか？（**単一回答**）

1	ほぼ毎日（週4～7回）
2	週に数回程度（週2～3回）
3	月に数回程度（週1回未満）
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

問4 >

**問2 国道10号の移動手段について**

住吉・佐土原地区の国道10号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？（**単一回答**）

1	自動車
2	公共交通（バス、タクシー）
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

**問3 国道10号の利用目的について**

住吉・佐土原地区の国道10号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？（**単一回答**）

1	通勤・通学
2	仕事（営業・商談・運送など）
3	私用（買物・食事・通院など）
4	その他 [具体的な内容を記入してください]

**問4-1 国道10号（住吉・佐土原地区）の課題について**

国道10号（住吉・佐土原地区）について、5つの課題を5段階（そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない）で評価してください。（**5段階評価**）  
【1～5の課題それぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

番号	課題	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
	(記入例)					
1	暮らし 1-1 渋滞が発生している 1-2 車の事故も多く、歩行者への安全性も低い 1-3 今の市街地の衰退や無秩序な市街化への懸念	○				
2	防災 災害時に緊急交通路として信頼性が低い					
3	医療 救急施設までの搬送時間がかかる					
4	産業 無駄な迂回など企業活動に支障					
5	観光 観光地への円滑な移動ができない					

**問4-2 国道10号（住吉・佐土原地区）の課題について（理由）**

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。（**自由回答**）

番号	理由
1-1	
1-2	
1-3	
2	
3	
4	
5	

**問4-3 国道10号（住吉・佐土原地区）の課題について（その他課題）**

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的に記入ください。（**自由回答**）

**問5 その他について**

その他ご意見がありましたらお聞かせください。（**自由回答**）

**あなたご自身の事について教えてください**

住所 [ ] 県 [ ] 市 [ ] 町 [ ]

性別 [ ] 年齢 [ ]

①男性 ②女性      ①10代 ②20代 ③30代 ④40代  
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

住吉・佐土原地区の現状について、地域にお住いの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

**回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。**  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

ご協力ありがとうございました。



# 6. 第2回意見聴取方法について

## 4. 住民アンケート（案）

### ③返信用はがき

（表 面）

郵便はがき

8 8 0 8 5 2 3

料金受取人払郵便

宮崎中央局  
承認

宮崎県宮崎市大工2-39  
国道10号 住吉道路  
計画段階評価 事務局 行

差出有効期限  
平成●●年●月  
●日まで  
(切手不要)

|||||

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

<b>◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号と箇所には○をつけてください】</b>	
住所 [            ] 県 [            ] 市 [            ] 町	
性別 ①男性 ②女性	年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
問1 ふだん、住吉・佐土原地区の国道10号をどの程度利用していますか？ (単一回答)	
1. ほぼ毎日    2. 週に数回程度    3. 月に数回程度 4. ほとんど利用しない    5. 利用したことがない	
問2 住吉・佐土原地区の国道10号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？ (単一回答)	
1. 自動車    2. 公共交通    3. パイク    4. 自転車    5. 徒歩	
問3 住吉・佐土原地区の国道10号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？ (単一回答)	
1. 通勤・通学    2. 仕事    3. 私用    4. その他	

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。  
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

（裏 面）

問4-1 国道10号(住吉・佐土原地区)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。  
(5段階評価)【1～5の課題それぞれ該当する箇所につだけ○をつけてください】

番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
1-1	渋滞が発生している					
1-2	車の事故も多く、歩行者への安全性も低い					
1-3	今の市街地の衰退や無秩序な市街化への懸念					
2	災害時に緊急交通路として信頼性が低い					
3	救急施設までの搬送時間がかかる					
4	無駄な迂回など企業活動に支障					
5	観光地への円滑な移動ができない					

問4-2 「問4-1」の回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
1-1	
1-2	
1-3	
2	
3	
4	
5	

問4-3 「問4-1」の課題以外で、課題だと思う事があればご記入ください。(自由回答)

問5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)